

適切な播種作業で収量・品質アップ！

1. 土づくり

- 必ず石灰質資材を施用し、土壌 pH6.0~6.5 を確保する。
- 緑肥や堆肥等有機物を積極的に施用する。

表1 資材別施用量

石灰質資材		有機物	
資材名	施用量	種類	施用量
苦土石灰	100kg/10a 以上	発酵ケイソウ	100~150kg/10a
顆粒消石灰			

2. 播種作業

- 耕起～播種は、土壌の乾いた日に1日で実施する。

表2 播種の目安（条間85cmの場合）

品種	播種時期	目標栽植本数		使用目皿	ス ³ ロケット		播種量の目安 大粒(kg/10a)
		(本/10a)	(本/m)		目皿側	車輪側	
インレイ	5月下旬～ 6月上旬	14,000	12	B-22	13	11	5.9
	6月中旬	16,000	14		11	10	6.5
マツル	6月上旬～ 中旬	12,000	10	B-3	10	11	5.0

- 栽植本数を確保する。
 - ・品種にあった目皿を使用
 - ・ス³ロケットの組合せを確認



- 出芽・苗立ちの安定のため播種深度は3cmとし、深播きや表面播きにならないよう注意する。

表3 施肥量の目安

作型	資材名	10a 当たり施用量
単作	いみず野有機1号	30kg
麦跡		35kg

※マリーゴールド(緑肥作物)をすき込んだ場合は25kg/10a程度に減肥可能

- 今年は大麦の成熟期が遅くなることが予想されるので、麦跡大豆の場合は大麦収穫後、直ちに播種を行えるよう計画する。

◎種子は全てクルーザーFS30(対象害虫：マシヒキムシ、クビキリムシ、アブラムシ類)及びキヒゲン(紫斑病など)で消毒済みです。

3. 除草剤の散布

- 除草剤は播種後速やかに散布する。

表4 播種時除草剤散布例

薬剤名	10a 当たり散布量
トレファノサイド [®] 粒剤 2.5	5~6kg
トレファノサイド [®] 乳剤	200~300ml + 水 100ℓ
エコトップ [®] 乳剤	400~600ml + 水 100ℓ

4. 播種後の排水対策

- 播種後に額縁排水溝と排水口との連結を手直しする。
- 畦立て播種では、播種後に溝を水尻までつなげ、排水がスムーズに行えるようにする。

◇JA栽培管理記録とGAPチェックシートを記入しましょう！

◇春の農作業安全運動実施中です。あせらず安全に農作業を！